

公益社団法人 日本青年会議所	
北陸信越地区 福井ブロック協議会	
会長 澤田 渉平	
現 状 分 析	幸福度や女性就業率がNo. 1等、誇るべき統計はありますが、この先も確実に人口減少が続いていきます。福井ブロックの会員数もピーク時の半分以上にまで減少しており、これはJ Cが時代のニーズを的確に捉えられていない組織であることを表しています。
目指すべき状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>■すべてのL O Mが社会の変化に合わせた組織改革案を2つ以上実践できた状態</li> <li>■すべての会員が携わる組織的な拡大運動により会員数が20%増えた状態</li> <li>■自社の取り組みをS D G sに紐付けする企業が新たに100社増えた状態</li> <li>■若年層が能動的に政治参画し、県内17市町で30代以下の投票率が前を上回った状態</li> <li>■県内10L O Mで災害ネットワーク協定が締結され、有事における備えができた状態</li> </ul>
連 携 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業の実施 組織改革会議から改革提案されたプランを組み合わせてブロック協議会が支援し、L O Mに対して組織改革を提案・支援します。</li> <li>■会員拡大の支援 各L O Mの状況をヒアリングして実情に即した拡大支援を行います。さらに福井ブロックがハブとなり、日本J C・日本J Cシニア・クラブ拡大支援委員会との連携を推進します。</li> <li>■地域社会でS D G sを達成していくための事業の実施 ゴールナンバー1の貧困対策を行うとともに、中小企業や次世代へのS D G sの普及活動を行う事業を実施し、社会課題に対する具体的な取り組みを増加させる仕組みを構築します。</li> <li>■選挙における各種討論会の実施 あらゆる世代の声が反映される政治を目指して、若年層の政治参画意欲を高める啓蒙活動を行うとともに討論会を主催し、市町村首長選挙においては各L O Mの討論会を支援します。</li> <li>■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施 安全保障確立委員会との連携により、安全保障のリスクが常に身近にあることを学ぶ事業を実施し、さらに被災地支援に備え各L O M間で災害支援ネットワークを構築します。</li> </ul>
S D G s	【4. 5. 13. 17】
政 策 手 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業の実施 社会の変化に対応した組織となるために、各L O Mが門戸を開放し、幅広い人材を受け入れられる組織改革支援を行うことで、多様性に富んだ組織へと進化します。</li> <li>■会員拡大の支援 持続可能なJ Cとするために、各L O Mへエリア別担当を設けて充実した支援体制を築くとともにすべての会員が拡大に携わる仕組みを構築することで、会員数を継続的に増やします</li> <li>■地域社会でS D G sを達成していくための事業の実施 地域社会の包摂性を確立するために、金融・投資教育の機会の提供および包括的なS D G s普及に向けた取組みを行うことで、社会的損失を防ぎS D G s達成に寄与します。</li> <li>■選挙における各種討論会の実施 あらゆる世代の声が反映された政治であるために、若年層への政治参画の啓蒙活動を行い、関心を向ける仕組みをつくることで、若年層の主権者意識が醸成された社会にします。</li> <li>■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施 平和で安全な福井を維持していくために地域特性に合った安全保障の県民議論を巻き起こすことで、身近な日常の中にも様々な安全保障に対する問題があることを理解します。</li> </ul>
パ ー ト ナ ー	組織改革会議、福井県県民活躍化、めがねのまちさばえ戦略課、組織拡大戦略会議 福井県友好青年3団体、S D G s推進会議、明るい選挙推進青年活動隊（C E P T） 安全保障確立委員会、福井県危機対策・防災課